

更に復是、色が見出し、遂に市内眠泊所在

会社革命分工場に波及し過日、来朝業状態

7/11

相呼應して、餘一、大示威行列を作り遊撃

的、市内各工場を訪問、場外より氣勢を振る

内部に於て急迫分子と氣脈を通じ、示威行列に

加はせんとす、其の操縦も職工を誘引し

畢、一部行動を共にするに至り、其の状況を評

記す

一、川崎造船所本工場

工場

八月十一日、入場人員八百五十名、工場内仕上工場に

在り、其の業不調ナリ工場内仕上工場に

仕上工場(業不)

一、七日、造船工作部、会合、見合、各自仕事場

に降り、掃除、掃除、高の敷、帳、おんこト

一、十日、造船工作部、会合

一、十日、製罐工作部、会合、合同行動、今後

に於て決定スヘシ

ト、揭示あり、各工場内至ル所ニ、各自仕事場

に於て静粛ニセラレ、又造船仕上工場に於

テハ、本日午前九時半出、午後合工場に應接

ス、一同準備、午後一時半迄、帰所スル下

尚造船工作部、至ル、要求提出、應接欠

席者、各組実行委員会、取締ス、理由ナシ、

欠席ハ、大種材ニス、(大種材トハ日給百分一、生

収ナリ)其の他、他記(三)に記載、誓約書等

2